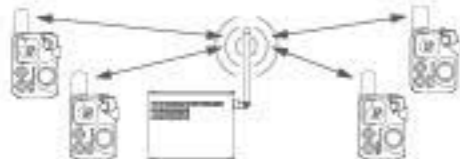


特定小電力中継器 EXR100A 取扱説明書

中継器 EXR100A を使用することで、通話エリアを約2倍に拡大することができます。多層階のビルや駅構内の雑音、通話音などで通話の質を良くしてエリアの拡大や通話音質の改善ができます。また、本体内部のスピーカーを拡声器として屋内アナウンスに使用することができます。



トランシーバーとの互換性に関して

EXR100A とあわせてお使いになるトランシーバーによっては、音声機能や CUE 機能など一部の機能が使えない場合があります。

	オンデマンド インカム SRFD10	SR235/A SR220/A SR235	SR70A SR100A
中継機能	○	○	○
本体のスピーカーから音声を出力する 屋内アナウンス (拡声器) 機能	○	×	×
中継機能を通してから 屋内アナウンス機能を使う	○	○	×
全員に合音を送る CUE機能	○	○	×
特定の相手とだけ通話する ホットライン機能	○	×	×

EXN029U002 (2200C-DB)

各部の説明

スピーカー
中継している通話の音声、PA(アナウンス)機能の音声、ビープ音などを出力します。音質はよいようにすることもできます。矢印の方向に動かしてください。

アンテナ

設置場所にあわせて向きを変えることができます。向きを変えるときはアンテナの根元を持って、矢印の方向に動かしてください。

セットアップキー

キーを押すだけの「オートセットアップ」機能に利用できます。
・ 押し: グループコードを使用する場合
・ 長押し: グループコードを使用しない場合
通話は定押ししてグループコードを使用します。

電源キー

長押しして電源をオン/オフします。



通話中に青色に点灯します。
受信中に青色に点灯します。

・ バッテリー A と B の残量を表示します。
青色点灯: まだ残量あり
黄色点灯: 残りわずかです
赤色点灯: 空になりました。バッテリーを交換してください。
・ セットアップ中は、バッテリー A の LED がオレンジ色に点灯または点滅します。

通話エリアを拡大する中継器として使う

SRFD10でオンデマンドインカムの全ての機能を使用する

EXR100A を2台使用します

● 準備をする

EXR100A は、使用する中継用チャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- SRFD10 のセットモード「**PA機能のON/OFF**」を「**ON**」にします
- チャンネル表示が中継用のチャンネル(表示は10~18と12~29合計27チャンネル)に変わりますので、中継通話をする全ての SRFD10 の A-ch と B-ch を運用するチャンネルにあわせてください。
A-ch と B-ch の間隔は5チャンネル以上開けてください。
- SRFD10 が「**PA**」または「**PA**」モードの場合は、A-ch/B-ch のどちらかで通話するかを決めます
A-ch で通話する時: [CUE] キーと [A] キーを同時に押し
B-ch で通話する時: [CUE] キーと [▼] キーを同時に押し
- EXR100A の電源を入れます

電源キーを長押し

- EXR100A のセットモード「**リピーターモード**」を「**リピーターモード**」に設定します
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。詳細の「WiFi を使って各種機能を設定する」を参照してください。
- オートセットアップ機能で EXR100A を設定します。

セットアップキーを長押し

- SRFD10 を A-ch または B-ch で [アクセス] キーを約4秒間押し続けます

アクセスキー → 送話と受信の LED が同時に点灯したら5秒

続けてもう1台の EXR100A の設定を行います
上記①と同じ操作を別のチャンネル(A-ch または B-ch) に設定した SRFD10 を使って設定します
以上で準備は完了です

この操作は初めの一歩だけです。次回も同じチャンネルで通話を行う場合は、電源を入れるだけで通話を行います。

- EXR100A を設置する場所を決めます
・ 子機の電波が届きやすい場所
・ 雑音や通話音が少なく、なるべく高い場所
・ 屋内または屋外などで通話できない場所 (EXR100A は防水機能ではありません)

- EXR100A を外部電源で使うか、バッテリーで使うかを決めます
外部電源の供給が困難な場合や、イベントなどで一時的に使用する場合はオフショアのリチウムイオンバッテリーで運用することができます。
別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。

- EXR100A を設置します。別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。
・ 画面に設定して設置する
・ マグネットを使って設置する

SR235/A, SR220/A, SR235, SR70A, SR100Aで使用する (SRFD10ではモード「A」または「B」の準備で使います)

EXR100A を1台使用します

● 準備をする

EXR100A は、使用する中継用チャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- SRFD10 のモードを「**A**」または「**B**」モードにします
- SRFD10 のセットモード「**PA機能のON/OFF**」を「**ON**」にします
SRFD10 以外の子機の電波も中継器を受信する設定にします。設定方法は子機の取扱説明書を参照してください。
- チャンネル表示が中継用のチャンネル(表示は10~18と12~29合計27チャンネル)に変わりますので、中継通話をする全ての子機を運用するチャンネルにあわせてください。
- EXR100A の電源を入れます

電源キーを長押し

- EXR100A のセットモード「**リピーターモード**」を「**リピーターモード**」に設定します
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。詳細の「WiFi を使って各種機能を設定する」を参照してください。
- オートセットアップ機能で本機を設定します

セットアップキーを長押し

- 子機の送話キーを約4秒間押し続けます

アクセスキー → PTTスイッチ → 送話と受信の LED が同時に点灯したら5秒

SRFD10 の通話 → SR235, SR220/A, SR235/A, SR70A, SR100A の通話

以上で準備は完了です

この操作は初めの一歩だけです。次回も同じチャンネルで通話を行う場合は、電源を入れるだけで通話を行います。

- EXR100A を設置する場所を決めます
・ 子機の電波が届きやすい場所
・ 雑音や通話音が少なく、なるべく高い場所
・ 屋内または屋外などで通話できない場所 (EXR100A は防水機能ではありません)

- EXR100A を外部電源で使うか、バッテリーで使うかを決めます
外部電源の供給が困難な場合や、イベントなどで一時的に使用する場合はオフショアのリチウムイオンバッテリーで運用することができます。
別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。

- EXR100A を設置します。別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。
・ 画面に設定して設置する
・ マグネットを使って設置する

構内アナウンス用 (拡声器) として使う

EXR100A は中継器としては使用しないで、子機からの音声を本体のスピーカーから出力してお客様の呼出などのアナウンスとして使う、構内アナウンス専用として使うことができます



● 設定方法

EXR100A は、構内アナウンスとして使用するチャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、構内アナウンスを行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- 本機の中継機能は使用しませんので SRFD10 の「**PA機能のON/OFF**」を「**OFF**」にします
設定方法は SRFD10 の取扱説明書を参照してください
- SRFD10 の「**PA機能のON/OFF**」を「**ON**」に設定します
設定方法は SRFD10 の取扱説明書を参照してください
- SRFD10 のチャンネルを構内アナウンスで使用するチャンネルに設定します
-1~-9, 01~11 の合計20チャンネルの中から選びます
A-ch/B-ch のどちらでも使用できます
- SRFD10 の [A]/[▼]/[アクセス] キーを同時に押し続けます
"cl" が点滅表示したらキーを放します
SRFD10 の設定は以上です
- EXR100A の電源を入れます

電源キーを長押し

- EXR100A のセットモード「**リピーターモード**」を「**PA専用**」に設定します
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。詳細の「WiFi を使って各種機能を設定する」を参照してください。
- セットアップキーを長押しします

セットアップキーを長押し

- A の LED がオレンジ色で点灯

- SRFD10 の [CUE] キーを長押しします

CUE キー

- A の LED が消えたら SRFD10 の [A]/[▼]/[アクセス] のいずれかのキーを押します

A の LED が消える

以上で準備は完了です

この操作は初めの一歩だけです。次回も同じチャンネルでアナウンスを行う場合は、電源を入れるだけでアナウンスができます。

- スピーカーの音質は、EXR100A のセットモード「**リピーターモード**」で「**PA専用**」のいずれかの数字にします (工場出荷時は「**PA**」です)。
- SRFD10 の [CUE] キーを押しながら起します。アナウンスが終わったら [CUE] キーを放します。

中継機能を使いながら構内アナウンス機能を使う

通常は通話の中継のみを行い、必要な時だけ本体のスピーカーからアナウンスをすることができます。この時の音声は中継しません。



● 設定方法

- 上記の「準備をする」と同じ操作を行い、EXR100A と子機を準備します。

- SRFD10 のセットモード「**PA機能のON/OFF**」を「**ON**」にします。
設定方法は SRFD10 の取扱説明書を参照してください。
- SR210/220 シリーズや SR235 の場合は「PA機能」を [CUE] または [ファンクション] キーに割り当てます。
割り当て方法は、子機の取扱説明書を参照してください。

- 本機のセットモード「**リピーターモード**」を「**リピーターモード**」にします。
パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは画面の「セットモード」を参照してください。

- 本機のスピーカーでアナウンスする時は、SRFD10 の場合は [CUE] キーを押しながら5秒します。SR210/220 シリーズや SR235 の場合は「PA機能」を割り当てたキーを押しながら5秒します。
(この音声は中継されません。)

- スピーカーの音質は、EXR100A のセットモード「**リピーターモード**」で「**PA専用**」のいずれかの数字にします (工場出荷時は「**PA**」です)。

- アナウンスが終わったらキーを放します。

Wi-Fi を使って各種機能を設定する

スマートフォンやパソコンのウェブブラウザの画面で、本機の各種機能をセットアップすることができます。本機に内蔵のWi-Fi(無線LAN)機能を使用しますので、インターネット接続環境は必要ありません。

注 設定する時は EXR100A の電源をオンにしてから「10分」(初回値)以内に設定を完了してください。10分を超えるとセキュリティの為、自動的にWi-Fiが切断されます。

スマートフォン (iPhone) で設定する

一度電源をオフにしてから再び電源をオンする



パスワード入力画面でパスワードを入力して「接続」をタップします。自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。
 ・自動的にブラウザが起動しない場合は、「設定」をタップした後の「Wi-Fi」画面で [EXR100A-xxxxxxx] の右にある [i] をタップし、次の画面で自動ログインを「ON」にしてください。



・自動ログインしない場合は、ご使用になるブラウザのアドレスバーに固定 [192.168.1.1] と入力すると、セットモード画面を表示します。画面をタップして設定を変更して、画面一番下の「設定する」をタップすると、本機に設定値が保存されます。



Wi-Fi 設定

1. セットモード画面一番下の「Wi-Fi 設定」をタップまたはクリックすると、本機の Wi-Fi 設定変更画面が表示されて、下表の各項目を設定できます。通常は設定する必要はありません。

項目名	初回値
SSID	EXR100A-xxxxxxx (xxxxxxxは本機の製造番号)
Password	12345678
IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

2. 「設定する」をタップまたはクリックすると、設定値が保存されます。

スマートフォン (Android) で設定する

一度電源をオフにしてから再び電源をオンする



パスワード入力画面でパスワードを入力して「接続」をタップします。自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。画面をタップして設定を変更して、画面一番下の「設定する」をタップすると、本機に設定値が保存されます。



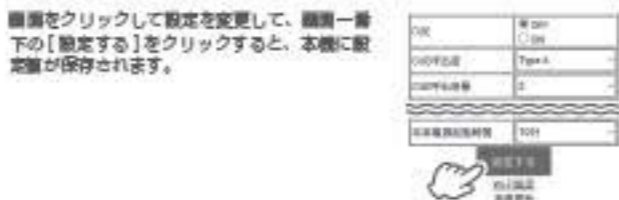
パソコンで設定する

Wi-Fi(無線LAN)機能のあるパソコンが必要です。

一度電源をオフにしてから再び電源をオンする



自動的にウェブブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。



画面をクリックして設定を変更して、画面一番下の「設定する」をクリックすると、本機に設定値が保存されます。

セットモード一覧

項目名	初期値 (文字: 括弧内)	設定内容
レピーターモード	半音階レピーター PA 専用	半音階レピーター受信した音声を中継します。中継しながら音声をスピーカーから出力することもできます。PA専用 「PA 用 CH 設定 A」と「PA 用 CH 設定 B」で設定したチャンネルの音声をスピーカーから出力します。両方の音声を同時に出力することはできません。また、この時の音声を中継しません。
半音階 CH	10~18 / 12~20	中継チャンネル指定 ※オートセットアップでも設定できます。
半音階グループコード	OFF / 01~51 ~ 15B	グループコード指定 ※オートセットアップでも設定できます。
PA 用 CH 設定 A	1~9 / 01~05 ~ 11	PA 用 CH (A) で受信するチャンネルを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA グループコード A	OFF / 01~51 ~ 15B	PA 用 CH (A) で使用するグループコードを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA 用 CH 設定 B	1~9 / 01~10 ~ 11	PA 用 CH (B) で受信するチャンネルを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA グループコード B	OFF / 01~52 ~ 15B	PA 用 CH (B) で使用するグループコードを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
騒音	OFF / 1 / 2 / 3	騒音モード指定 子機の騒音指定と同じ番号におないます。
PA 音場モニター音量	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	受信音場 (全ての音場) 中継している全ての音場をスピーカーから出力する時の音量を設定します。
ビープレベル	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	ビープ音場 キー操作時のビープ音場を設定します。
スケルチ	1 / 2 / 3 / 4	スケルチレベル 数字が大きくなるほど弱い信号は中継しなくなります。
送信出力	10mW / 1mW	送信出力 1mW に設定すると送信送信時間の制限 (3分間で送信を自動的に中止する) がなくなります。1mW の設定は、中継チャンネルが 12~20 の場合のみ有効です。
ホールド時間	0 (OFF) / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 (秒)	ホールド時間 子機の信号が弱くなり途切れても通話を維持する時間を設定します。
ファスト回復	OFF / ON	ファスト回復機能の ON/OFF 中継動作における復旧時間を短縮できます。子機もファスト回復機能を ON にしてください。
エリア判定機能	OFF / ON	通話エリア判定機能 通話エリア内かどうかを子機の画面とビープ音で知らせます。
電池音	OFF / ON	内部バッテリー充電時の音場指定 社外用の内部バッテリーに切り替わった時に、子機に音場を発生します。
セーブ	OFF / ON	バッテリーセーブ機能 バッテリー満充時にバッテリーの消費を抑えます。
APD 機能	OFF / 1 / 2 / 4 / 8 (時間)	自動電源オフ機能 電源をオンにしてから設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。
コンパング	OFF / ON	コンパング機能 受信音のカーというバックノイズを軽減します。子機もコンパング機能を ON にしてください。
LED	OFF / ON	LED インジケータ 電源以外の LED がすべて消灯します。
CUE	OFF / ON	CUE アラーム機能の ON/OFF CUE 音場を使って子機から送信されたアラーム音をスピーカーから鳴らします。
CUE 音場	Type A / Type B / Type C	CUE アラーム音の音場指定
CUE 音場音量	1 / 2 / 3 / 4 / 5	CUE アラーム音の音量
PA 音場	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	PA 音場動作時のスピーカー音場 PA 音場で音声をスピーカーから出力する時の音場を設定します。
Wi-Fi 初期時間	5 / 10 / 15 (分)	Wi-Fi でのセットモード設定が可能な時間 本機の電源がオンになってから、Wi-Fi によるセットモードが可能な時間を設定します。
社外電池使用時間	10 / 20 / 30 / 40 / 50 / 60 (分) 適時	内部充電電池で運用できる時間 内部の充電電池に電源がシャットダウンした後など、内部の社外電池で運用できる時間を設定します。なお、内部の充電電池使用中に CUE 音場を受信すると、設定した時間に達するまで内部社外電池がなくなるまで連続で運用します。

初期設定に戻す (オールリセット)

本機の全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 電源ボタンを長押しして電源をオフにします。
- セットアップボタンを押しながら電源ボタンを長押しして電源をオンにします。以上でリセットは完了です。

通話エリア判定機能

本機にアクセスする子機に対し、定期的にエリア判定用の確認信号を送出します。子機側では中継エリア (通話エリア) 内にあるかどうかを、画面表示とビープ音で確認できます。

対応トランシーバー: BR235, BR822D/A, BR821D/A (2022年9月現在)

状況	電子音	画面表示
中継エリア内	中継エリア内になった時に「ビープ」と鳴る	電子音が鳴った後「案内」が点灯する
中継エリア外	中継エリア外になった時に「ブツブツ」と鳴る	電子音が鳴った後「案内」が点滅する

注 グループコードが設定されている場合のみ動作します。

- 本機のセットモードの「エリア判定機能」を「ON」に設定します。パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の「セットモード」を参照してください。
- 子機の「コールバック機能」を「ON」に設定します。設定方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- 以上で設定は完了です。

正しくご使用いただくために

- 当社純正品以外のオプションによる故障や損傷、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いけません。
- 本機の動作温度範囲は -20℃ ~ +50℃ です。

アフターサービス

正しくご使用状態で万一故障した場合は、修理・返品に関するお問い合わせは、お問い合わせいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください。

八重洲無線株式会社

- お問い合わせいただいた日から3年以内に、取扱説明書に使用した正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理をお引き受けします。故障した使用や過失などによる故障や損傷は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。本機内蔵バッテリーは消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外になります。
- 非常用内蔵バッテリーの交換 (有償) は、お問い合わせいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください。

定格

送信機規格 (12.5kHz ステップ)
 10ch ~ 18ch: 440.2525MHz ~ 440.3525MHz
 421.8125MHz ~ 421.9125MHz
 12ch ~ 29ch: 440.0250MHz ~ 440.2375MHz
 421.5750MHz ~ 421.7875MHz

電波方式: F3D, F3E
 送信方式: 半波整流方式
 送信出力: 10mW (G/T) / 1mW (G/T)
 受信感度: ~ 14dBμV (G/T) (0.1dB SINAD)
 伝送速度: 最大 4W (0.10.5V 充電電圧時)
 最大 1.5W (0.7.2V 0.9.34V 充電時)
 動作温度範囲: -20℃ ~ +50℃
 動作電圧: DC5.5V / DC7.2V / DC10.5V (動作電圧: 3.24V ~ 12V)
 外形寸法: 約 155 × 125 × 37mm (幅 × 高さ × 奥行、アンテナをよみ除く)
 本体質量: 約 430g
 ※この規格は性能上のため必ずしも変更することがあります。
 ※ Part 5 準拠

オンデマンドインカム以外の子機で使用する場合は

BR822D/A, BR821D/A, BR235 はグループコードの表記が本機と異なり、下表を参考にグループコードを設定してください。

例: EXR100A が「S1」のグループコードに設定してある時は、子機のグループコードを「D01A」に設定します。

本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード
01 GP01	25 D114	22 G044	118 D254	108 G058	108 D258	108 G062	108 D262
02 GP02	70 D118	23 G048	118 D258	109 G066	109 D266	109 G070	109 D270
03 GP03	71 D118	24 G048	117 D257	140 G098	140 D298	140 G102	140 D302
04 GP04	72 D122	25 G050	119 D411	141 G098	141 D302	141 G102	141 D306
05 GP05	73 D126	26 G054	119 D412	142 G098	142 D306	142 G102	142 D310
06 GP06	74 D130	27 G058	120 D412	143 G098	143 D310	143 G102	143 D314
07 GP07	75 D134	28 G062	121 D423	144 G098	144 D314	144 G102	144 D318
08 GP08	76 D138	29 G066	122 D423	145 G098	145 D318	145 G102	145 D322
09 GP09	77 D142	100 G202	123 D426	146 G098	146 D321	146 G102	146 D325
10 GP10	78 D146	101 G206	124 D426	147 G098	147 D325	147 G102	147 D329
11 GP11	79 D150	102 G210	125 D445	148 G098	148 D329	148 G102	148 D333
12 GP12	80 D154	103 G214	126 D445	149 G098	149 D333	149 G102	149 D337
13 GP13	81 D158	104 G218	127 D452	150 G098	150 D337	150 G102	150 D341
14 GP14	82 D162	105 G222	128 D452	151 G098	151 D341	151 G102	151 D345
15 GP15	83 D166	106 G226	129 D455	152 G098	152 D345	152 G102	152 D349
16 GP16	84 D170	107 G230	130 D455	153 G098	153 D349	153 G102	153 D353
17 GP17	85 D174	108 G234	131 D454	154 G098	154 D353	154 G102	154 D357
18 GP18	86 D178	109 G238	132 D455	155 G098	155 D357	155 G102	155 D361
19 GP19	87 D182	110 G242	133 D458	156 G098	156 D361	156 G102	156 D365
20 GP20	88 D186	111 G246	134 D458	157 G098	157 D365	157 G102	157 D369
21 GP21	89 D190	112 G250	135 D458	158 G098	158 D369	158 G102	158 D373
22 GP22	90 D194	113 G254	136 D458	159 G098	159 D373	159 G102	159 D377
23 GP23	91 D198	114 G258	137 D459	160 G098	160 D377	160 G102	160 D381